

カモシカ通信



福寿草

春の訪れを感じられる季節になってきました。今年は記録的な暖冬でしたが皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今回のカモシカ通信は、『令和元年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事』で実施している「グラウンドアンカー」についてです。

■グラウンドアンカーとは (出典：一般社団法人 日本アンカー協会)

グラウンドアンカーとは、地中にグラウトによって造成する定着部と地表付近の構造物を、高強度の引張材で連結させ、引張力を利用して安定させるシステムです。

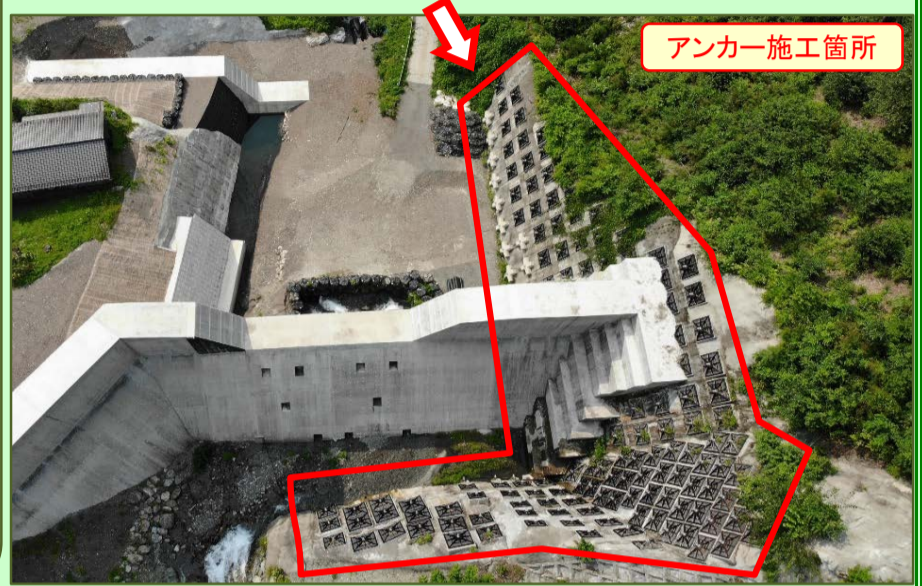
グラウンドアンカー工法は、

- (1) 斜面安定
- (2) 構造物の転倒・浮き上がり防止
- (3) 仮設山留め・土留め

など、土木建築分野において広く利用されています。



ツベタ沢では、ここに施工しています!



アンカー施工箇所

グラウンドアンカーの施工手順を説明します! (矢印→の順にご覧ください。)

削孔状況

・クローラ型ボーリングマシンにて径115mmの孔を二重管により削孔します。今回は斜め20°に約11m掘りました。

テンドン挿入

・インナーロッド管を抜き、孔の深さを検測後、アンカー体(テンドン)を先端部より孔内へ挿入します。

グラウト注入

・グラウト(セメントミルク)を孔底より注入し、定着部のケーシング抜管後、加圧注入します。グラウトが固まると、テンドンと地山が一体になります。

受圧板設置

・受圧板(十字ブロック)に専用吊り金具を取付け、吹付面のアンカー体頭部が受圧板中心の孔に通るようにクレーンにて設置します。

◆工事現場より◆ 木下建設株式会社 現場代理人 西村 光樹

・平成29年度に本堤を施工させて頂いた年は、非常に寒く、雪も多く降りました。そのため、人生初の【寒さアレルギー】になってしまいました。私の場合は、寒さにアレルギー反応を起こし、足にじんましんが出てしまい、かゆくて仕方がありませんでした。

今年は暖冬と言うことで、屋外での作業も施工しやすく、おかげさまでアレルギー症状は出ておりません。とは言え、寒い日は今後もあると思いますので、体に気を付け、安全第一で工事完了を目指します。

地元の皆様には、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

頭部処理

アンカー完了

・定着後、余長部分を切断し、防錆剤がはいったヘッドキャップをかぶせて頭部処理を行い、完了。

緊張定着工

・緊張はナット方式で締め付け、センターホールジャッキにて設計値と同等の耐力があるか確認後、定着します。

遠山川砂防出張所の一節



ただでさえ殺風景な、冬から春先にかけての出張所の玄関を彩るために、ビオラの苗を育ててみました。

ビオラは、スミレ科スミレ属の一年草で、ヨーロッパに自生する野生種から江戸時代に日本へ持ち込まれて育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していましたが、現在では複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別が難しくなっているそうです。(出典：「みんなの園芸」NHK出版)

花がたくさん咲き、寒さに強く霜にあたっても大丈夫なうえ、ほったらかしにできるので、私のようなずぼらな園芸初心者にとっては大助かりです。苗を植えた直後に、野良ネコにプランターをトイシにされてしまい、苗が枯れかけましたがなんとか持ち直し、きれいな花を咲かせて私たちの目を楽しませてくれています。